



2011年4月21日

各 位

会 社 名 株式会社日本製紙グループ本社
代 表 者 名 代表取締役社長 芳賀 義雄
コード番号 3893(東証・大証・名証 一部)
問合わせ先 広報室長 吉野 幸治
電話 03-6665-1016

東日本大震災により被災した工場の復旧状況について

～岩沼工場は4月24日より2台目の新聞用紙生産設備の操業を再開～

東日本大震災により甚大な被害を受けた、当社グループの主要子会社である日本製紙株式会社(社長:芳賀 義雄)の石巻工場、岩沼工場、および勿来工場の復旧状況について、次のとおりお知らせいたします。

記

1. 日本製紙の被災工場の復旧状況

石巻工場(宮城県石巻市)

引き続き、同社他工場からの人的応援も得て、津波により工場構内および抄紙機建屋に流入した土砂や瓦礫を除去する作業を精力的に進めております。除去作業の進展に伴い、津波による浸水被害を受けた設備の被害状況を精査し、その結果を基に操業再開までの具体的な計画を策定する予定です。

岩沼工場(宮城県岩沼市)

4月11日に新聞用紙生産設備1台の操業を再開し、順調に生産を継続しております。さらに、4月24日に2台目の新聞用紙生産設備を稼働いたします。残る2台の生産設備につきましても5月中に稼働し、同工場は完全復旧する見込みです。

勿来工場(福島県いわき市)

4月5日に塗工機1台を再稼働し、続いて2台の塗工機を順次立ち上げました。しかしながら、4月11日、12日に連続して発生した福島県浜通りを震源とする強い余震により建屋が損傷を受けたため、全設備の操業を一時停止いたしました。余震の状況にもよりますが、現段階では4月末より順次再稼働できる見込みです。

2. 業績への影響

東日本大震災が当社業績に与える影響につきましては現在算定中です。判明次第、速やかに開示いたします。

以 上